

名英研だよい

名英研ホームページ <http://meieiken.org/>

平成 24 年度 N o. 6 改訂版

発行日 平成25年 2月 20日

発 行 名古屋市英語教育研究会

事務局 名古屋市立山王中学校

IP. 71-3033 TEL. 322-3884

研究部

〈研究部総会〉

2月5日（火）、18時30分より名古屋市教育館にて名英研・研究部総会を開催しました。はじめに、研究部長の鈴木暁子先生（前津中）から、活動報告がありました。また、各学年部会の主任の先生（3年部会は役員の先生）から、部会の活動内容について報告していただきました。

〔報告内容〕

研究部会を年5回行いました。また、今年度は学習会を4回計画しました。また、小学校英語部会も年5回牧野小学校で開かれました。

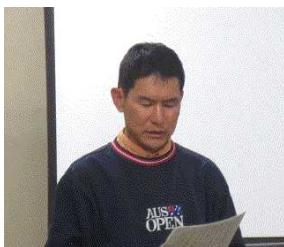
今年度は新学習指導要領の全面実施や新しい教科書の使用にあわせて、サブテーマを「新しい教科書でどう教えるか」と定めて、よりよい授業づくりができるることを目指して研究活動に取り組みました。毎回参加された先生方による熱心な外国語活動についての意見交換が行われています。

〔研究部長〕



鈴木暁子先生（前津中）

〔1年部会〕



濱嶋 修先生（円上中）

〔2年部会〕



山田 慶太先生（守山東中）

〔3年部会〕



植田 則康先生（守山中）

〔小学校部会〕



朝日 洋介先生（宮前小）

〈研究発表会〉

総会に引き続き、二つの部会から、2名の先生が実践の発表をされました。

2年部会 守山北中学校 清原 良太先生「自信をもって英語を使う生徒の育成」

清原先生は、生徒の自信に着目して研究に取り組みました。苦手意識をもつ生徒へ配慮してワークシートにルビを付けたり、グループ内でのスピーチの発表後に、最も良かった生徒をMVPとして選んで学級全体の前で発表せたりするなど、様々な配慮やステップを踏むことで、「英語を使うことができた」と感じる生徒を増やしていました。



立石先生は、自分を表現することで相手から認められる喜びを味わうことを目指して外国語活動に取り組まれました。対話の後で相手の価値観について気付いたことや共感したことを「シンパシーカード」に書いて渡すという活動を通して、自分の考えを進んで相手に伝えることができる児童を育てていました。また、実際の活動の様子を動画で見せていただき、活動の様子をより深く理解することができました。



行事部

〈会誌部会〉

名英研の1年間の行事や活動を『会誌』という形で報告させていただきます。原稿の執筆におきましては、ご多用の中ご協力いただき、ありがとうございました。今年度の特集は、『新学習指導要領完全実施における英語授業の現状』と題して、各学校での取組や各先生方の考えについてアンケートをとり、まとめました。この特集から、今後の授業研究のヒントを得られれば幸いです。

◆◆◆連絡◆◆◆

○第4回学習会 2月22日(金) 18:30~ 名古屋市女性会館

岐阜大学教育学部英語教育講座准教授 畿 徹 先生 「明日の授業に役立つ音読指導」

○ 行事部（会誌部会）

『会誌』『研究の歩み』を3月中旬に発送する予定です。各校の英語科の先生方で回覧していただき、教材研究の一助としていただけますと幸いです。また、ご意見やご質問がありましたら、山王中の玉腰隆司先生までお願いします。

○ 平成25年度研究部員の募集について

4月中に部員の募集案内を送ります。ぜひ、お声を掛け合ってご参加ください。

* 今年度の名英研活動に、ご理解とご協力いただきましたことを深く感謝いたします。

若手英語教員の集い

1月19日（土）、15時00分より山王中学校にて、「若手英語教員の集い 学習会」を開催しました。英語科若手教員の人材を育成する第一歩とすることを目標に、教職経験年数1年目～10年目の先生方を中心に参加していただきました。学習会では、山王中の玉腰隆司先生が発表されました。

山王中学校 玉腰 隆司先生 「若手英語教員に伝えたい英語教育の基礎・基本」

玉腰先生は、様々な工夫がなされた数々の実践を紹介されました。生徒とのテンポのよいインタラクションを元にしたオールイングリッシュの活動では、一度にたくさんのことを見せて発表させすぎないように配慮していました。また、100円ショップでトランプを購入し、文法事項を百人一首の上の句・下の句に分けてラベルシールで貼り、百人一首やカルタのように取ることで、楽しみながら文法事項を覚えることができる活動に大いに感心させられました。さらに、数多くの英語教育に役立つサイトや若手教員向けの英語教育関連の書籍を紹介していただき、若手教員が貪欲に学ぶことの大切さについて強調されました。



【玉腰先生の発表の様子】

【ペアワークの様子】